脱原発世界会議 2012 YOKOHAMA
Global Conference for a Nuclear Power Free World
事務局：ピースボート
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-13-1 B1F
TEL：03-3363-7561　FAX：03-3363-7562

企画名：　「原発の運転再開に反対しよう！」
（「原発の運転再開を止めよう」）
実施日時：　2012 年 1 月 14 日(土)　15:00～16:30
実施場所：　パシフィコ横浜会議センター 3F 311＋312
登壇者 ：
●報告者　岡島（美浜の会会員）
●自治体への働きかけ紹介　玉崎（あすのわ（滋賀県））
●署名の取り組み紹介　黒河内（コープ自然派ピュアおおさか）
参加人数：　約６０名
文責：　岡島（美浜の会会員）

この企画は、目前に迫る日本の脱原発を現実にするため、今、最初に狙われている大飯原発の運転再開に反対しよう！と呼びかけるものでした。４０分程の話の後、質疑応答や意見交換を行いました。

【話の内容】日本に５４基ある原発で現在動いているのはたった５基。日本全ての原発がとまる脱原発を現実にするには原発を止め続けること、つまり最初の大飯原発の運転再開に反対することが重要です。福島原発事故は実態も原因も明らかになっていません。世界では脱原発に舵を切った国もありますが、事故を起こした日本では、この２月～３月に運転再開する動きを強めています。そこで運転再開の最後の砦である福井県と関西の知事に大飯原発３・４号機の運転再開反対を働きかける署名活動を軸に２月４日、琵琶湖の湖畔で反対の意思を結集し発信しよう！と運動をつくっています。

運転再開の条件は、（福島事故の実態を反映せず、判断基準もない）ストレステストに合格すること、地元の了解を得ること等です。福島原発事故の被害の実態から、防災範囲を３０ｋｍ・５０ｋｍに拡大しようとする動きや、隣接府県や隣接自治体が立地並みの安全協定の締結を求めています。事故後できた市民のネットワーク等の活動や自治体への働きかけの成果です。また、事故が起こると関西１２００万人のいのちの水がめ琵琶湖が汚染されることを危惧し、原発運転再開に反対するこの署名が広がっています（署名は美浜の会等のホームページでダウンロードできます）。

政府交渉で確認した重要なことがあります。①福島原発事故は津波の前の地震で配管が損傷した可能性や早期に放射能が外へ出た可能性が否定できない、②福島原発事故が起こらないことを説明する必要がある、③運転再開には安全協定を結ぶ地域への説明と理解が必要、等です。また、国会の事故調査委員会の調査・検証は開始されたばかりで、これを無視して運転再開の準備を進めることは許せません。

脱原発世界会議 2012 YOKOHAMA
Global Conference for a Nuclear Power Free World
事務局：ピースボート
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-13-1 B1F
TEL：03-3363-7561　FAX：03-3363-7562

【質疑応答・意見交換】最初に狙われている大飯原発の運転再開をなんとかしたい・状況はせっぱ詰まっている、という発言や、原発立地の状況についての質問で会場に来て下さっていた立地県の方が答えていただくなど、多くの発言があり、それぞれの役割で一緒に大飯をとめるんだという理解や意識がより深まったと思います。この企画などを通じて、大飯運転再開反対の署名をたくさん集めることができました。